

特定非営利活動法人MSキャビン

多発性硬化症 (MS) と視神経脊髄炎 (NMOSD) の患者さんとご家族のために活動しています。

独立性を強く守るため

製薬企業から寄付をいただいていません。

構成メンバーは患者と家族、そして専門家です。
当事者と専門家の2つの視点で取り組んでいるのが
いちばんの特徴です。

主な事業内容は次の3つです。

①情報誌の発行

MS/NMOSD情報誌「バナナチップス」年4回発行

一般向け書籍「多発性硬化症完全ブック」発行

一般向け書籍「視神経脊髄炎完全ブック」発行

②医療講演会の開催

③ホームページの運営 www.mscabin.org

運営費は発行物による事業収入とご寄付で
まかっています。

ぜひご協力をお願いいたします。

【ご寄付お振込み先】

みずほ銀行 三ノ輪支店 (普通 8060314)

トクテイヒエイリカツドウハウジンMSキャビン

三井住友銀行 上野支店 (普通 7875710)

トクテイヒエイリカツドウハウジンEMエスキャビン

※寄付金控除は受けられません。

特定非営利活動法人MSキャビン

住所：〒116-0002

東京都荒川区荒川 1-47-7-505

電話：03-5604-5042

(木・金・土 9:00~16:00)

メール：info@mscabin.org

ホームページ：www.mscabin.org



発行：2019年4月19日

MSって聞いたことある？



特定非営利活動法人MSキャビン

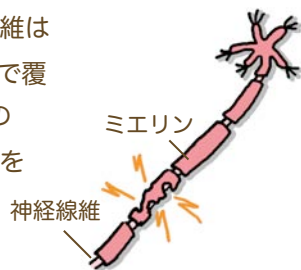


MSとは何ですか？

MSは「多発性硬化症」という脳、脊髄、視神経の病気です。英語名は「Multiple (多発する) Sclerosis (硬化)」で、その頭文字から「MS」と呼ばれています。原因不明で根治療法がない難病です。伝染病ではなく、特定の遺伝子の異常は認められていません。

どうして起こるのですか？

脳、脊髄、視神経の神経線維は「ミエリン」というカバーで覆われています。MSは自分の免疫がミエリンのあちこちを繰り返し壊してしまうことによって起こります。



どんな症状があるのですか？

通常、ミエリンが壊された部分に応じた神経症状が出てきます。ミエリンの壊され方は人それぞれで違うので、症状の種類や程度は人によって様々です。MS全体としてよく見られる症状は視力障害、感覚障害、運動障害、疲労、排尿障害、ふるえ、物忘れなどです。体温が上がると一時的に症状が悪くなることがあり、これを「ウートフ現象」といいます。

どんな人になるのですか？

20~30代に多く、男性よりも女性に多く発病する傾向があります。有病率は人種でも違い、欧米白人に多い病気です。また緯度の高い地方に多く、日照時間との関連が指摘されています。

どのように診断されますか？

MSを単独で診断できる検査はありません。細かい診察とMRI検査、髄液検査などをおこない、その結果を総合的に判断して診断されます。MSは脳神経内科に分類される病気です。

どんな治療がありますか？

急性増悪期には、炎症を鎮めるために副腎皮質ステロイド薬を使って治療します。再発予防にはインターフェロン・ベータ (アボネックス®、ベタフェロン®)、グラチラマー酢酸塩 (コパキソン®)、フィンゴリモド (イムセラ®、ジレニア®)、ナタリズマブ (タイサブリ®)、フマル酸ジメチル (テクフィデラ®) が使われますが、効果は人によって違います。

これからどうなるのですか？

MSの経過は様々で誰にも予測できません。何年も安定して普通の生活を送っている人もいれば、年に1回くらい悪くなる人、いつの間にか徐々に歩みにくくなっていくような人などいろいろです。海外の統計では早い段階から予防治療を始めることで良い状態が長く保てることが示されています。

ストレス、風邪、過労、出産などが再発の引き金になることが多いようです。病気が安定している時は適度な運動をして、休息を取ることが大切です。

利用できる社会資源はありますか？

MSは指定難病に定められています。MSと確定診断され、さらに決められた条件を満たすと医療費の一部が公費で負担されます。窓口は住所地を管轄する健康福祉センター (保健所) などです。

